

**第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る  
令和 2 年度 取組実績**

**1 寄附の実績（R 3. 3. 31 時点）**

令和 2 年度実績 **36,403,717 円**

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	206 件	1,168,500 円	※内 197 件 クラウドファンディング（着ぐるみ製作費）
企業・団体	9 件	35,005,000 円	※内 1 件 クラウドファンディング（着ぐるみ製作費）
イベント等	22 件	13,969 円	イベント等での募金
据置き募金箱	—	136,333 円	
その他	2 件	79,915 円	びわ湖レイクサイドマラソン (チャリティーランナー(500 円)) 他
計	239 件	36,403,717 円	(使途) 競技力向上 361,617 円 施設整備 35,011,600 円 広 報 1,030,500 円 (着ぐるみ製作費)

<参考>

年度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	計
件数	2 件	10 件	27 件	112 件	57 件	59 件	239 件	506 件
寄附金額	11,000 千円	20,066 千円	23,320 千円	30,424 千円	59,362 千円	45,714 千円	36,404 千円	226,290 千円

## 2 主な取組

### (1) 個人

#### ① 寄附付商品販売の検討

大会マスコットキャラクターを活用した募金グッズ（ぬいぐるみ等）を製作し、委託販売実施にかかる税務署との協議・調整を完了した。「募金グッズ委託販売要領」を作成し、来年度から販売を可能にした。

募金グッズ



#### ② 寄附返礼グッズの製作

- 缶バッジ（2025年バージョン）  
2,000個



#### ③ イベント会場等での募金活動の実施

<イベント会場等での募金活動>

→新型コロナウイルス感染症の感染拡大をふまえ、イベント会場等での募金活動は、秋以降に実施した。

(募金活動を行ったイベント)

- ・競技団体会長会議(11/12)
- ・ふれあい祭(11/14)
- ・トルコパラスポーツ応援イベント(12/5)
- ・「みんなで音楽会に出かけよう！」イベント(2/7)
- ・フローリストフラワーコンテスト(2/13、14)
- ・手話・要約筆記ボランティア啓発セミナー(3/13)
- ・県庁内各種会議



令和3年2月13日

フローリストフラワーコンテスト



令和3年3月13日

手話・要約筆記ボランティア養成セミナー



### <街頭募金>

→新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえて、中止し、代替措置として、スマートフォン版 WEB サイトによるインターネット広告を実施し、募金についてのPRを行った。

(期間：12/1～31、表示回数：約 12, 225, 622 回、クリック数：4, 379 回)

### インターネット広告



#### ④ クラウドファンディングサイトによる寄附の受け入れ

➢ 「滋賀応援寄附」のクラウドファンディングサイトを通じた個人寄附2件

#### ⑤ ホームページ、SNSを活用した寄附募集の周知

大会専用ホームページ、Twitter、Instagramによる情報発信

#### ⑥ 募金箱の設置箇所の拡大

県内のスポーツ施設の他、文化施設や民間施設に募金箱設置の協力を依頼し、設置した。

・令和2年度末募金箱設置箇所 138カ所 (令和元年度 134カ所)

#### ⑦ スポーツイベント等とのタイアップの実施

➢ 「びわ湖レイクサイドマラソン」でチャリティーランナーの募集において参加料の一部を寄附いただいた。(101名 50,500円)

### (2) 企業・団体

各種企業・団体等に対して、両大会の開催準備や寄附のメリット(企業イメージの向上、税制優遇措置など)、寄附金の活用用途等を説明のうえ、寄附依頼を行った。

また、依頼にあたっては、通常の寄附のほかに、以下のような企業活動にも資するメニューも提示した。

#### <通常の寄附以外のメニュー>

➢大会マスコット・愛称・スローガンを活用した商品展開

大会マスコットキャラクターや愛称・スローガンを活用した商品の販売に応

じて、「使用料」を納付いただくもの

…1社（大会マスコットキャラクターを用いたマスク製作）

➤「滋賀のスポーツ応援プロジェクト」

寄附額の2割以内で企業・団体名の入った広報グッズを作成・配付することで寄附者（企業等）をスポーツ応援企業として認知度を高めるもの

…実績なし

➤「飲んで応援！プロジェクト」

寄附型自動販売機を活用し、自販機設置協力者があらかじめ設定した飲料一本あたりの金額を寄附いただくもの

…飲料メーカーと県立スポーツ施設等への設置について調整中。

⇒企業・団体への依頼回数：延べ22回（出前講座を兼ねたもの2回）

### （3）寄附募集に係る情報発信

国スポ・障スポの寄附制度についての認知を広め、個人や企業等による寄附の機運を高めるため、次のような取組を実施した。

- ・大会専用HPにおける情報発信
- ・『企業向け寄附募集パンフレット』および『募金リーフレット』の作成・配布等（開催年度変更に伴う更新）
- ・感謝状贈呈式実施と情報発信（知事による贈呈式2回、HP・報道機関への資料提供）

※資料提供に伴う新聞記事への掲載

令和2年11月24日寄附者への感謝状贈呈

令和3年3月15日寄附者への感謝状等贈呈



- ・滋賀応援寄附（ふるさと納税）と連携した周知（滋賀応援寄附のメニューの一つに国スポ・障スポ寄附が位置づけ）
- ・（新規）街頭募金中止による個人寄附代替取組は以下のとおり

#### ① インターネット広告の実施

スマートフォン版WEBサイト「Yahoo!Japan」トップページ 募金啓発広告掲出  
12月1日～12月31日



② 寄附募集についての記事掲載による情報発信

広報誌「Bispo:ビスポ」、「毎日新聞」、県民運動ガイドブック、BBC特番告知枠

③ 県庁内の職員端末のログオン広報にて「寄附のお願い」

を庁内向けに発信

9月、10月、12月、3月 (合計4回掲載)

広報誌「Bispo:ビスポ」  
令和2年9月30日発行

BBC特番告知枠  
令和3年1月10日放送

滋賀県文化スポーツ部 国スポ・障スポ大会課からのお知らせ

寄附のお願い 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の開催準備のために寄附を募集しています。御協力をお願いいたします。

次世代アスリート発掘育成プロジェクト 通称「滋賀レイキッズ」

税制面でのメリット

- 法人は、法人税法に基づき、寄附金の全額を損金算入できます。
- 個人は、一定額を超える金額の寄附は所得割・住民税の寄附金控除の対象となります。

寄附者への謝意の表明

- 礼状または感謝状を贈呈します。
- 寄附額に応じて、感謝状様式の実施、経路への寄附者の感謝状、発給式への招待を行います。

寄附金の活用用途

- アスリートの発掘・育成・強化
- 県大会の会場施設の整備
- 大会の運営経費

プロジェクト修了生には将来の有望選手がいます!

1級生 渋谷 穂菜さん  
大津市立東部小学校  
大津市立東部中学校  
〒520-0001 大津市東部  
●JOCエリートアカデミー

大会専用ホームページ(<https://www.pref.shiga.lg.jp/2024/bokin/index.html>)に掲載の寄附申込書に記入し、郵便・メール・FAXのいずれかで下記連絡先まで送付ください。後日、金額確認で返信いたします(送料はご負担ください)

湖国の感動 未来へつなぐ  
わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ  
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

お問い合わせ先  
滋賀県知事公室庶務課(滋賀県文化スポーツ部 国スポ・障スポ大会課内)  
TEL:077-528-3381 FAX:077-528-4832 E-mail: kokukupo@pref.shiga.lg.jp

湖国の感動 未来へつなぐ  
わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025  
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

寄附のお願い

2025年の国スポ・障スポ開催に向けた寄附金を募集しています。次世代アスリートの育成・強化やスポーツ施設の整備等に使用させていただきます。御支援・御協力をお願いいたします。詳しくは大会専用ホームページをご覧ください。

個人の場合、一定額を超える金額の寄附は税控除の対象となります。  
法人の場合、全額を損金算入できます。

県庁内ログオン広報掲載画面

寄附のお願い

2025年の国スポ・障スポ開催に向けた寄附金を募集しています。次世代アスリートの育成・強化やスポーツ施設の整備等に使用させていただきます。御支援・御協力をお願いいたします。詳しくは大会専用ホームページをご覧ください。

湖国の感動 未来へつなぐ  
わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ  
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

東レアローズ Vリーグ開催中!

国スポ・障スポ大会課 総務企画係:3321

(4) 寄附金を活用した事業展開

寄附金について、次の事業に充当した。

➤次世代アスリート発掘育成プロジェクト 32万円

滋賀県内の小学校5年生を対象に運動能力テストを行い、約40名を選考。「滋賀レイキッズ」として「食育プログラム」や「競技体験プログラム」などの育成プログラムを実施し、将来、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを育成

➤競技団体育成・強化対策事業(パラアスリート育成支援) 30万円

競技団体における障害者スポーツへの理解の促進を図りつつ、全国障害者スポーツ大会等において活躍できる選手を育成するための強化事業を実施

**➤ターゲットエイジの重点強化事業 30万円**

滋賀で開催する国スポで少年種別の主力となる選手（小学校5年生～中学校2年生）を指定し、重点的に強化事業を実施

**➤キャプフィー着ぐるみ製作 94万8,750円**

2008年の第21回全国スポーツレクリエーション祭での活動から11年経ち、老朽化したキャプフィー着ぐるみの更新を実施